

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成22年度病害虫発生予察技術情報第3号（ナシ黒星病）について（送付）

このことについて、下記のとおり取りまとめましたので送付します。

1 農作物名 ナシ

2 病害虫名 ナシ黒星病

3 予報内容

- (1) 発生地域 県本土
- (2) 発生量 多

4 情報の根拠

- (1) 4月の巡回調査において、葉での発生ほ場率は90%（平成8%）、発病葉率は1.8%（平成0%）と平成に比べて高い（図1）。
- (2) 果実での発生ほ場率は60%（平成13%）、発病果率は8.2%（前年1.2%）で、葉と同様に平成に比べて高い（図2）。
- (3) 果樹部北薩分場での4月下旬の調査において、発病葉率は無防除区で8.0%（平成0.5%）、慣行防除区で0.8%（平成0%）と平成に比べて高い（図3）。

5 防除上注意すべき事項

- (1) 新梢伸長期までは降雨や結露により発病が助長され、多発する恐れがあるため、防除を徹底する。
- (2) 効果の高いSBI剤を用いて防除することが好ましいが、薬剤耐性菌の発生防止のため、同一系統薬剤の使用は年3回以内に抑える。
- (3) 発病葉や発病果は伝染源となるのでせん除し、園外に持ち出して処分する。特に発生の多い園では防除前のせん除を徹底する。
- (4) 薬剤のかかりにくい部分は、かけむらがないように手散布する。

(参考資料)

